



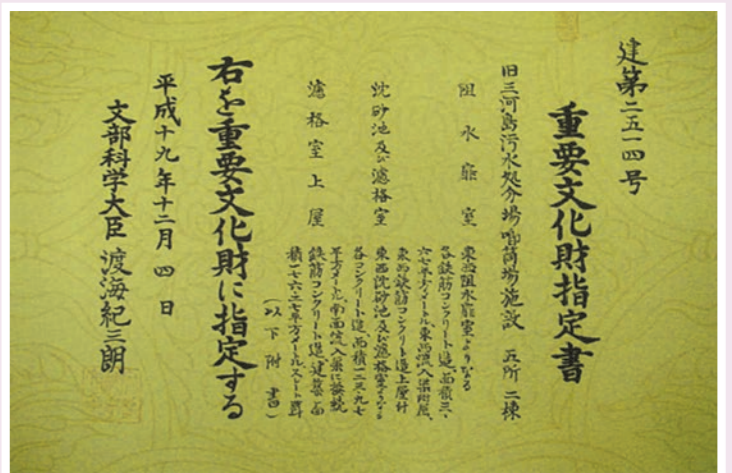
国指定重要文化財 ポンプ 旧三河島污水処分場唧筒場施設



旧三河島污水処分場唧筒場施設は、隅田川中流に位置する旧下水処理場施設で、東京市区改正事業の一環として、東京市技師米元晋一を中心として建設が進められ、大正11年3月に運転を開始しました。

本施設は、わが国最初の近代下水処理場である旧三河島污水処分場の代表的遺構として、高い歴史的価値が認められることから、平成19年12月4日に下水道分野の遺構では初めて国の重要文化財（建造物）に指定されました。

入口阻水扉室、沈砂池などの一連の建造物が、旧態を保持しつつまとめて残っており、近代下水処理場唧筒場施設の構成を知る上でも重要な文化財となっています。



重要文化財指定書

案内図

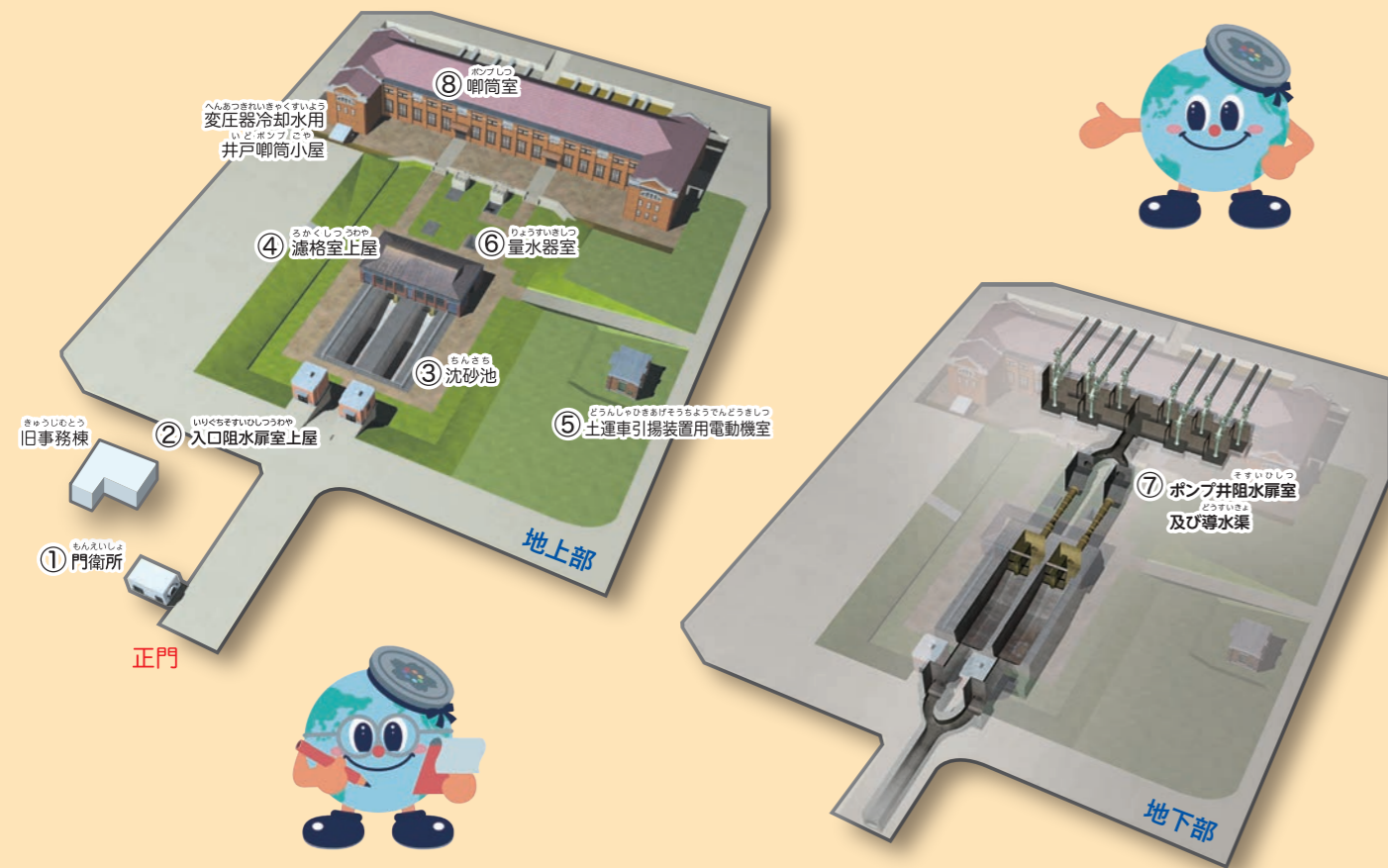
●所在地 〒116-0002 東京都荒川区荒川8-25-1
●交通 東京メトロ千代田線「町屋」駅または京成本線「町屋」駅から徒歩13分
東京さくらトラム(都電荒川線)「荒川二丁目」から徒歩3分

施設見学は、予約が必要です!

〈電話予約受付〉
三河島重要文化財見学受付
電話番号 **03-6458-3940**
受付時間 **9:00~17:00**
平日(火・金、年末年始を除く)、土日・祝日

〈インターネット予約受付〉
東京都下水道サービス(株)HP
<https://www.tgs-mikawashimayoyaku.jp>

旧三河島污水処分場唧筒場施設



① 門衛所

表玄関として、大正14年(1925年)に建設されました。



門衛所 (昭和37年)



② 入口止水扉室上屋

東・西に各1棟あり、メンテナンス等のために下水の流れを一時的に止める扉が地下にあります。



③ 沈砂池

東・西に各1池あり、下水を池の中でゆっくり流して、下水中の土砂類を沈殿させて、取り除きます。



当初の沈砂池



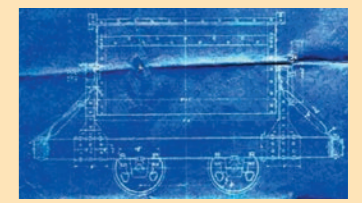
④ 濾格室上屋

下水中のゴミを取り除くスクリーンが設置されています。



⑤ 土運車引揚装置(インクライン)用電動機室

下水中から取り除いた土砂類やゴミを積んだ土運車(トロッコ)を坂の上まで引き上げる機械が設置されていました。



トロッコ設計図(大正9年)



⑥ 量水器室

下水の量を計測するベンチュリメータという設備が地下にあります。

どうして量をはかるの?

流れてくる下水の量に応じてポンプや後の水処理施設の散水機の運転台数を変えるためです。



⑦ ポンプ井止水扉室及び導水渠

二系統に分かれて流入した下水はここで合流し、各唧筒井に流入します。



⑧ 唧筒室

下水を地下の唧筒井から吸い揚げるポンプが10台設置されています。



ポンプ 唧筒場施設は地下深くに流入してきた下水を地上にある水処理施設に送り込むため、下水をポンプで吸い揚げる施設です。

旧三河島污水処分場のうち、水処理施設は時代とともに最新技術のものへと更新されましたが、唧筒場施設は平成11年(1999年)に稼働を停止するまで旧態を保持し続けました。

